

# 平成21年度財団法人山形県体育協会事業計画

本会は、県内最大のスポーツ推進統括団体という自覚のもと、県民総スポーツの普及振興と競技力向上、また青少年の健全育成を目標に掲げ、平成21年度事業を次のとおり実施する。

## 1 県民総スポーツの推進に関する事業

- (1) 地域団体（市町村体協等）の活性化
  - ① 総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援
    - ・ クラブリーダーの育成（ドイツクラブ視察研修事業）
    - ・ 連絡協議会活動支援
  - ② 地区体協連絡協議会の活動支援（8地区）
- (2) スポーツ少年団の育成
  - ① 指導者の育成と指導者組織の充実
  - ② 関係機関・団体との連携の強化
  - ③ リーダーの養成と活動体制の強化
  - ④ 各種交流事業の充実
  - ⑤ 専門委員会の活動の活性化
- (3) 少年スポーツの育成
  - ① 少年少女スポーツ交流大会の充実
- (4) 生涯スポーツ指導者の養成と活用
  - ① 地域スポーツ指導者養成講習会の開催
  - ② 県スポーツ指導者連絡協議会との連携

## 2 競技力の向上に関する事業

- (1) 第64回国民体育大会及び第65回国体冬季大会のための、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定
- (2) 国際競技大会出場選手等に対する激励費の交付
- (3) 「チーム山形」の意識高揚を図るための事業推進
- (4) 山形県スポーツ指導者講習会の開催（共催事業）
- (5) 女子駅伝強化事業
- (6) トレーナー帯同支援事業  
競技団体が国体及び東北総体に帯同するトレーナーの旅費の一部を補助

- (7) スポーツタレント発掘事業  
本県から国際舞台で活躍する選手を輩出するための、スポーツタレント発掘事業の推進

### 3 競技強化特別対策事業

- (1) 優秀指導者・選手確保事業  
スポーツ指導員・スポーツ技術員等の優秀指導者や選手の採用と、強化事業の実施・国際大会や全国規模大会等への派遣
- (2) 競技強化支援事業  
競技スポーツの強化及び普及を図るため、スポーツ関係団体が実施する各種競技強化支援事業への補助
- (3) 企業スポーツ支援事業  
企業スポーツの活性化と競技力向上を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」への補助

### 4 各種大会の開催並びに派遣に関する事業

- (1) 第64回国民体育大会県予選会（本大会）7月10日～12日（主会期）
- (2) 県内スポーツフェスティバルの開催  
（少年少女スポーツ交流大会） 10月4日 県内各地（主会期）
- (3) 第36回東北総合体育大会 8月21日～23日 青森県(主会期)
- (4) 第64回国民体育大会（本大会） 9月 9日～13日 新潟県  
9月26日～10月6日 新潟県
- (5) 第65回国民体育大会県予選会（冬季）  
（スケート・アイスホッケー） 12月下旬/平成22年1月上旬 山形市他  
（スキー） 平成22年1月中旬 山形市他
- (6) 第65回国民体育大会冬季大会  
（スケート・アイスホッケー） 平成22年1月27日～31日 北海道  
（スキー） 平成22年2月25日～28日 北海道
- (7) 国体及び東北総体出場選手に対するユニフォーム作製費補助

### 5 加盟団体育成に関する事業

- (1) 競技団体の育成 競技の普及および強化事業の推進
- (2) 地域団体の育成 「県民総スポーツの推進に関する事業」等を推進する

- (3) 学校体育団体の育成                      中体連・高体連の事業に対する助成

## 6 広報に関する事業

- (1) ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報の提供を行う
- (2) 県体協機関紙「スポーツ山形」の発行
- (3) スポーツ少年団広報紙「大空に翔る」の発行
- (4) 総合型地域スポーツクラブ啓発リーフレットの作成
- (5) 体協要覧の発行

## 7 顕彰に関する事業

本会表彰規程に基づく顕彰

- ① 殊勲賞
- ② 奨励賞
- ③ 功労賞（ライオンズスポーツ賞）
- ④ 感謝状

## 8 財政の確立と組織体制の確立

- (1) 財政基盤の確立  
賛助会員の拡大を目指すとともに、免税募金制度を活用し財源の確保に努める
- (2) 専門委員会活動の活発化を図る
- (3) 事務局組織体制の活性化

## 9 スポーツ医科学活動の推進

- (1) 日体協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用
- (2) 「スポーツ医科学研究報告書」の作成
- (3) 国体への帯同ドクターの派遣
- (4) トレーナー帯同支援事業
- (5) アンチ・ドーピング普及・啓発事業の推進

## 10 事故防止と補償制度の活用

- (1) スポーツ活動における事故防止の徹底と補償制度の活用促進
- (2) (財) スポーツ安全協会山形県支部との業務連携
  - ・スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会幹事長県(H21 年度～22 年度)

## 11 東北体育協会連合会の運営 (H21 年度～22 年度)

## 12 その他

### (1) 青少年の健全育成

あらゆるスポーツ活動の機会を通して、フェアプレー精神の高揚を図り青少年の健全育成に努める

## 《参 考》

### 1 開催会議等

- ① 県体協理事会 年 3 回
- ② 県体協評議員会 年 2 回
- ③ 県体協各専門委員会 委員会毎随時開催
- ④ 国民体育大会代表者会議 年 1 回
- ⑤ 国体県予選会実行委員会・事務局会 年 2 回

### 2 出席会議等

- ① 日本体育協会評議員会 年 2 回
- ② 日本体育協会加盟団体事務局長会議 年 1 回
- ③ 都道府県体育協会連合会総会 年 1 回
- ④ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会 (東地区：神奈川県) 年 1 回
- ⑤ 都道府県体育協会事務局職員研修会 年 1 回
- ⑥ 東北六県体育関係者会議 (東北 6 県体育協会連絡協議会) 年 2 回
- ⑦ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 年 2 回